



コ ミ 福 フ ェ ス —2026—

日時

10月24日 **土**
11:00-18:15

会場

立教大学
新座キャンパス
9号館



「コミ福フェス」とは？

「コミュニティ福祉学会（まなびあい）は
コミ福学部の在学生・卒業生・教職員が
お互いの研究・実践・活動の成果を持ち寄り
学び合うためのプラットフォームです。
みなさんの来場をお待ちしております！

自由発表

ゼミや実習の成果報告、卒業研究の中間発表
社会活動の実践報告などを行います。
今年度から「企画セッション」も加わりました！

企画セッション

発表タイトル：「人材還流プロジェクト」
学生自身がテーマを決め、企画・運営も行っています。

【当日のスケジュール】

11:00 報告者受付開始
11:15 総会・表彰式・発表者説明会
13:00 自由発表開始
13:45 トークセッション開始
15:10 企画セッション開始
16:40 発表終了
17:00 交流会（参加無料&軽食あり）

トークセッション・ブース展示

コミ福の学生がそれぞれの活動や
大学での学びについてトーク！
会場内には活動内容の展示ブースも設けており
関心のある活動について話を聞くことができます。

テーマ：

「つながる つなげる ウェルビーイング」
登壇者：スタジオコアズ・ディスカバ！
NPO法人グッド・渡邊楓花氏
セントリベル・不登校コミュニティIma

お問い合わせ：cchs@rikkyo.ac.jp

コミュニティ福祉研究所内コミュニティ福祉学会運営委員会事務局

主催：コミュニティ福祉学会まなびあい運営委員会

詳細は
QRコード
から→



大会について

2008 年より続く卒業生と在校生の学びの交流の場である「まなびあい」が、今年度もイベント感覚で気軽に参加できる「コミ福フェス」として開催されます！

「自由発表」では、口頭発表・ポスター発表に加えて、特定のテーマについて複数の報告者が報告する「企画セッション」を設けます。今年度も引き続き会場となる 9 号館では、エントランスホールでポスター発表を行い、より一体感のある空間で気軽に交流を楽しめます。

さらに、トークセッションでは「つながる つなげる ウェルビーイング」をテーマに学部内外で活動する学生達たちの生の声をお届けします。ぜひお気軽にご参加ください！

■プログラム

	自由発表 (口頭)	企画セッション	自由発表 (ポスター)	ブース展示 トークセッション
	N911、N912 N924、N925	N921	9 号館 1F エントランス ホール	9 号館 1F ラーニングホール
11:00～11:15	参加者受付開始			ブース展示開始 16:30 まで
11:15～12:00	総会・第 12 回研究実践奨励賞授賞式・発表者説明会（45 分） (学会誌『まなびあい』第 18 号掲載作品から選出されたものです。)			
12:00～13:00	昼食休憩（随時）			
13:00～16:40	口頭発表 (20 分×4) 13:00～14:20		ポスター発表 13:00～16:30	トークセッション（75 分） ＜登壇者＞ スタジオコアズ、不登校コミュニティ Ima、 セントリベル、渡邊楓花氏、 NPO 法人グッド、ディスカバ！ 『つながる つなげる ウェルビーイング』 13:45～15:00
		新企画		
		企画セッション (90 分) 15:10～16:40		
17:00～18:15	交流会 9 号館 1F ラーニングホール			

■自由発表

口頭発表 (各発表 15 分、質疑応答 5 分程度) ※敬称略

会場	時間	所属／指導教員・ゼミ 発表者	発表タイトル
口頭発表①			
N911 司会・コメンテーター 小野田 由美子先生	13:00-13:20	<団体> 不登校コミュニティ Ima／津富宏先生 ①宮原 杏里 ②斎藤 萌	不登校支援における多様な進路情報へのアクセスに関する研究
	13:20-13:40	<団体> コミュニティ政策学科 3 年／津富宏ゼミ ①宮原 杏里 ②佐々木 悠乃 ③新田 琴乃 ④山本 美音 ⑤軽米 藍伽 ⑥チャン スジ ⑦ヨ ヒス	現代日本における若者の生きづらさ
	13:40-14:00	<団体> 福祉学科 4 年／結城俊哉先生 ①吉野 綾 ②大塚 音奈	身体障害者における自己表現
	14:00-14:20	<個人> 上智大学実践宗教学研究科死生学専攻／福祉学科 2023 年卒業 齋藤 大陽	総合大学で精神保健福祉士を養成することの意義はどこにあるか —「いのちの尊厳のために」をスローガンとして掲げる立教大学コミュニティ福祉学部をモデルとした考察—
口頭発表②			
N912 司会・コメンテーター 門 美由紀先生	13:00-13:20	<団体> コミュニティ政策学科 3 年／空閑厚樹ゼミ I ①増田 咲奈 ②望月 結良	紙芝居で伝える地域電力プロジェクト
	13:20-13:40	<団体> コミュニティ政策学科 4 年／藤井誠一郎ゼミ I ①柴田 彩美 ②佐藤 緋葉里 ③渡邊 ころこ ④中川 暦 ⑤渡邊 香穂 ⑥大野 裕翔 ⑦伊藤 綾希	清掃プロジェクト ～知れば変わる、ごみ処理の世界～
	13:40-14:00	<団体> コミュニティ政策学科 3 年／藤井敦史ゼミ I ①根津 周世 ②毛利 彩乃	ボランティアマネジメントの新しい形 —学生参加とプロボノの視点から考える

会場	時間	所属／指導教員・ゼミ 発表者	発表タイトル
口頭発表③			
N924 司会・コメンテーター 小倉 明子 先生	13:00-13:20	<団体> コミュニティ政策学科4年／藤井誠一郎ゼミⅡ ①吉川 美咲 ②越野 由子 ③鶴見 勇介 ④佐渡 遼太郎	職住近接で働き暮らすススメ — 荏町のひとと地域を次代につなぐ —
	13:20-13:40	<団体> コミュニティ政策学科3年／藤井敦史ゼミⅡ ①知久 瑛真 ②恩田 まひろ ③松野下 あかり	徳島県牟岐町について
	13:40-14:00	<個人> コミュニティ政策学科3年／鈴木弥生ゼミ 金井 勇樹	日本の外国人労働政策の課題と展望 — 制度の曖昧さと AI 時代の持続可能性を問う —
	14:00-14:20	<団体> コミュニティ政策学科3年／空閑厚樹ゼミⅡ ①荒川 大知 ②成田 航史	鳥取合宿の学び
口頭発表④			
N925 司会・コメンテーター 大久保 心 先生	13:00-13:20	<個人> 観光学研究科観光学専攻博士課程前期課程 小松 由寿	精神障害者の旅行経験に関する研究 — 当事者の語りを中心に —
	13:20-13:40	<団体> コミュニティ政策学科3年／畠中亨ゼミ ①足立 優斗 ②濱田 凜音 ③渡邊 陸仁	子育て支援研究
	13:40-14:00	<団体> コミュニティ政策学科3年／空閑厚樹ゼミⅢ ①新井 友梨 ②原 春佳 ③山崎 奈由佳 ④剣持 遼 ⑤松川 璃瑠	まるごとかぼちゃプロジェクト

ポスター発表 会場：エントランスホール ※敬称略

	所属／指導教員・ゼミ 発表者	発表タイトル
①	<個人> コミュニティ政策学科4年／丹羽宣子ゼミⅠ 鈴木 紅后	「お洒落な街」の変容と商店街の持続可能性 —自由が丘ミューズスクエアの大規模開発と自由が丘デパートの動向を中心に—
②	<個人> コミュニティ政策学科4年／阪口毅ゼミⅠ 鈴木 睦乃	「軍事基地のまち」からのイメージ変化 —行政と商業の視点から—
③	<個人> コミュニティ政策学科4年／阪口毅先生 平岩 結衣	群馬県前橋市におけるアニメを活用した観光まちづくり
④	<団体> コミュニティ政策学科3年／阪口毅先生 ①小野澤 ひなた ②加藤 俊輔	立川プロジェクト
⑤	<個人> コミュニティ政策学科4年／阪口毅先生 中村 優月	民間団体によるまちづくりの取り組みに関する研究
⑥	<個人> コミュニティ政策学科4年／阪口毅先生 高田 佳那	東京都調布市深大寺から考える地域イメージ
⑦	<個人> コミュニティ政策学科3年／丹羽宣子ゼミⅡ 菊地 愛生	保護猫ボランティアにおける活動継続の原理 —感情労働とコミュニティに着目—
⑧	<個人> コミュニティ政策学科3年／丹羽宣子ゼミⅢ 青井 実優	常盤平団地の孤独死問題とコミュニティの再生
⑨	<個人> コミュニティ政策学科4年／阪口毅ゼミⅡ 田代 野々香	アニメや映画、ドラマの舞台となったことで観光地化した場所の地元住民、地域コミュニティの変化や影響
⑩	<個人> コミュニティ政策学科4年／阪口毅ゼミⅢ 岩澤 栞里	都市再開発地域における祭りと都市空間の相互作用 —につぼんど真ん中祭りを事例として—

	所属／指導教員・ゼミ 発表者	発表タイトル
⑪	<個人> コミュニティ政策学科4年／阪口毅ゼミⅣ 早川 明里	大学生の都市イメージの形成と共有性
⑫	<個人> コミュニティ政策学科4年／阪口毅ゼミⅤ 松村 日奈	都市部の「移行期の若者」におけるサードプレイス感
⑬	<個人> コミュニティ政策学科3年／丹羽宣子先生 松野下 あかり	地域での体験が子どもの豊かな成長にもたらす影響
⑭	<個人> コミュニティ政策学科3年／丹羽宣子先生 根津 周世	行政と民間の協調性から考える、若者とコミュニティの相互影響
⑮	<団体> コミュニティ政策学科3年／藤井敦史ゼミⅢ ①山本 和佳 ②藤原 由佳 ③内田 舞華	孤立や困難を抱える子ども・若者に対する地域的アプローチの可能性
⑯	<団体> コミュニティ政策学科3年／藤井敦史ゼミⅣ ①菊地 万華 ②富永 晴日 ③濱口 すず花	“きっかけ”を創る若者支援
⑰	<団体> 福祉学科3年／松山真先生 ①正野 寛一郎 ②大谷 爽 ③沼田 柚華	ノーマライゼーションの観点で見る陸前高田市の避難の実態と検証
⑱	<個人> 福祉学科4年／松山真先生 星 梢	制度併設型コミュニティにおける「ごちゃまぜ」の人間関係分析
⑲	<団体> コミュニティ福祉学研究科博士課程前期課程・福祉学科3年／西田恵子ゼミ ①リュウ ヤル ②鈴木 茉穂 ③狩野 柚葉 ④貝沼 梨奈 ⑤耳浦 志織 ⑥稲葉 ちはや	分身ロボットカフェにみる社会参加の新しいかたち —地域福祉の視座から考える—
⑳	<団体> コミュニティ政策学科3年／藤井敦史ゼミⅤ ①小川 愛華 ②佐藤 月音	アート・身体表現が自己肯定感と社会参加に与える影響

	所属／指導教員・ゼミ 発表者	発表タイトル
②①	<団体> コミュニティ政策学科３年／原田晃樹ゼミ ①中野 世雄 ②遊佐 虹春	地域内外をつなぐ新たな協働： 関係人口と地域の関係形成の条件と可能性

トークセッション・ブース展示

学部の内外で精力的に活動する学生と、これから一步を踏み出したい学生の交流を促し、新たなつながりから「まなびあい」を生み出すことを目的に、今年度もトークセッションとブース展示を行います。

今回のテーマは「つながる つなげる ウェルビーイング」。トークセッションでは、それぞれの団体や個人での活動、実践活動に活きるコミュニティ福祉学部での学びについて、登壇者が自由に語り合います。会場内には、学生による活動や、学生の活動・学びを支える取り組みを紹介する常設ブースも設け、気になる活動について話を聞いたり、参加者同士で交流したりすることができます。

■常設ブース（9号館1F ラーニングホール 終日展示）

活動名・団体名（出展代表者氏名）

#活動に関するキーワード

活動の詳細は、ラーニングホールに常設される「ブース展示」をご参照ください！

個人参加（渡邊楓花）

平和活動 # 核兵器廃絶

職住接近で働き暮らすスズメ-鞆町の人々と
地域を次代につなぐ（吉川美咲）

職住接近 # 移住促進 # ライフストーリー

私たちの「ごみ」を考える-清掃の課題とこ
れから-（柴田彩美）

清掃行政 # ごみ処理 # 公共サービス

不登校コミュニティ lma（宮原杏里）

不登校 # お喋り会

当事者コミュニティ

コミ福インターンシップ・
キャリア支援室（小島理絵）

地方公務員 # 公務員福祉職

卒業生と話そう

スタジオコアズ（一般社団法人 COAs）

（高木裕人） # ウェルビーイング

まちづくり # キャリア教育

セントリベル（岩佐星流菜）

まちづくり # 探究活動

ウェルビーイング

ディスカバ！（門口愛実）

探究活動 # キャリア支援

NPO 法人グッド（磯田そら）

海外ボランティア # 農場・牧場体験

高校生～社会人 # 初海外多数

SEMBRAR（根津周世）

ボランティアサークル # 地域活動

福祉支援活動

■トークセッション(9号館1F ラーニングホール 13:45～15:00)

一人ひとりの経験や実践が人と人をつなぎ、新たな行動へとつながっていくこと、その積み重ねが誰もがよりよく生きられる社会（ウェルビーイング）の実現につながることにについて、登壇者と参加者の皆さんと一緒に考えます。

<登壇者と活動紹介>

高木裕人（コミュニティ福祉学研究科修士2年）／スタジオコアズ（一般社団法人 COAs）

スタジオコアズは、若者が自分だけの世界観を見つけ、その世界観からキャリアや生き方をプロデュースしていくスタジオです。対話で違和感や願いを言葉にし、旅で視野を広げ、仲間との実践を通じて社会と接続する。漂流していた感覚を、自分だけの地図と航路に変え、納得して生きる一歩を支えます。

宮原杏里（コミュニティ政策学科3年）／不登校コミュニティ Ima

不登校コミュニティ Ima は、不登校を経験した先輩の声を届けながら、「不登校のその先」をともに考えるコミュニティです。お喋り会やコラボ企画を通して、多様な進路や生き方に出会える場をつくっています。

岩佐星流菜（コミュニティ政策学科3年）／セントリベル

“自分らしく生きる力をすべての若者へ”。

まちづくりと探究活動を軸に 10～20 代が企画づくりを通じて、“自分らしく生きる力”を育むコミュニティです。

渡邊楓花（コミュニティ政策学科2年）／個人参加

核兵器廃絶を中心に、平和活動を行っております。江東区にある核実験の歴史を学べる「第五福竜丸展示館」で学生ボランティアとして活動しながら、核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴える「高校生平和大使」の OP が集まる学生団体に所属しています。

磯田そら（コミュニティ政策学科2年）／NPO 法人グッド

不登校や引きこもりを含む、すべてのわかもののきっかけづくりを応援する団体です。参加者は高校生から社会人までと幅広く、国内外でボランティアワークキャンプを行っています。国内外の課題がある地域を訪れ、ホームステイや共同生活をしながら、その場所が必要としているワーク（農業・酪農・井戸掘りや道路建設）を行います。海外が初めて、ボランティアが初めて、人見知り…。そんな人でも安心して参加できるプログラムです。

門口愛実（コミュニティ政策学科 1 年）／ディスカバ！

ディスカバとは、高校生のためのキャリア支援プロジェクトです。学校では学ぶことができない、これから社会へ羽ばたいていくために必要な体験や出会い、学びを得ることができます。

<司会>

峯萌乃果 （福祉学科 2 年）

.....
ご不明な点につきましては、事務局にお問い合わせください

立教大学 コミュニティ福祉研究所内

コミュニティ福祉学会運営委員会事務局

Tel : 048-471-7308 Mail : cchs@rikkyo.ac.jp

.....